

2020年度 脳性まひ児療育関係職種対象講習会

1.主 催	大阪発達総合療育センター 共催:アジア小児ボバース講習会講師会議(ABPIA)
2.内 容	本講習会では「脳性まひ児の生活支援 -多職種によるチームアプローチ-」を主題とし、 講義・実技・事例検討を通して、以下の項目についてそれぞれの現場で実践できることを目標とします。 「ボバース概念とチームアプローチの重要性」「脳性まひ児の生活障がいとは」「子どもの身体の動きを学ぶ」 「座位・立位・歩行の援助方法」「目と手の使い方の援助方法」「日常生活動作の援助方法(更衣・排泄・書字)」 「食べる機能について学ぶ」「食事の援助方法」「脳性まひ児の学習支援」 「環境調整①:器具・自助具」「環境調整②:車椅子・補装具」「保育所・幼稚園・学校との連携」「事例検討」
3.講 師	鈴木 恒彦 (ABPIA 専任講師, 大阪発達総合療育センター センター長, リハビリテーション・整形外科医師) 米持 喬(作業療法士, ABPIA OT 専任講師候補), 須貝京子(作業療法士, ABPIA OT 専任講師候補), 他
4.受講対象者	脳性まひ児の療育に携わる教諭, 保育士, 看護師, 言語聴覚士, 歯科衛生士, 保健師, 指導員など (理学療法士, 作業療法士, 医師を除く)
5.会 場	大阪発達総合療育センター 5階地域交流ホール 〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5-11-21
6.期 間	令和2年 8月17日(月)～ 8月21日(金) 5日間
7.受講費	35,000円(宿泊費, 食費は含みません)
8.定 員	40名程度(申し込み多数の場合は、選考のうえ決定いたします)
9.申込方法	E-mail で お申込みください。 宛先『kensyu@osaka-drc.jp』 件名『脳性まひ児療育関係職種対象講習会申し込み(受講生氏名)』とし、 『氏名, 職種, 経験年数, 施設名, 所属, 連絡先住所・電話番号・事例検討での検討希望の有無』をご送信ください。 * 送信後1週間以内に受付完了メールを返信します。ご確認ください。 受講申込締め切り: 2020年 5月8日(金) * 受講の可否は5月15日までにご連絡いたします。 ※講習会では各日(最終日除く)、受講者持ち込みのビデオを用いた事例検討を行う予定にしています。 可能であれば各現場でのお子さんのビデオ(食事・排泄・更衣などの日常生活動作や移動・移乗の場面など)を、「援助方法に難しさがある場面」「お子さんの普段の様子がわかるような場面(床上の姿勢や車椅子座位)」にわけて10～15分程度に編集していただきたいと考えています。

※コロナウィルス感染が終息することを願って開催予定にしておりますが、最終的に政府の方針に基づき、対応したいと思います。

参加についてはご所属先に確認の上、お申込みお願い致します。

2020年度 脳性まひ児関係職種講習会 講義スケジュール

	17日(月)	18日(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)	
9:00	受付					
9:20	更衣／オリエンテーション					9:30
9:50	講義 脳性まひ児の 生活障がいとは	講義 子どもの身体の動きを学ぶ	講義 目と手の使い方の 援助方法	講義 食べる機能について学ぶ	講義と体験 環境調整:ポジショニング	
11:00						10:50
11:10	実技 お互いの 身体の動きを学ぶ	実技 子どもの身体の動きを学ぶ	実技 目と手の使い方の 援助方法	実技 食事の援助方法	講義と体験 環境調整:ポジショニング	11:10
12:30	ランチ／自己紹介	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	12:30
13:50	講義 ボバース概念と チームアプローチの重要性	実技と講義 座位・立位・歩行の 援助方法	実技と講義 日常生活動作の援助方法 (食事・書字)	実技と講義 日常生活動作の援助方法 (更衣)	事例検討／実技	13:30
14:50						14:50
15:00	実技 お互いの 身体の動きを学ぶ	実技と講義 座位・立位・歩行の 援助方法	実技と講義 日常生活動作の援助方法 (食事・書字)	実技と講義 日常生活動作の援助方法 (更衣)	まとめ／質疑応答	15:00
16:20					終講式	16:20
16:30	事例検討／実技	事例検討／実技	事例検討／実技	事例検討／実技		16:30
17:30						